

第18回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成18年3月

応募者名:宮崎県 土木部 都市計画課

事業の名称:都城広域都市計画道路 鷹尾上長飯通線

(中尾工区)踏切除却・改良事業

実施都市名:宮崎県 都城市

事業の目的

本路線は、都城市街地と都城市への通勤圏内である鹿児島曽於市財部町を結ぶ、重要な都市計画道路(主要地方道都城隼人線)であり、都城地方拠点都市地域内の基幹的な道路となっている。

事業区間の沿線は、市街化が著しく宅地開発もめざましいため、発生交通量とともに市内への通勤車輛が非常に多く、市内高校への自転車通学や小中学校の学童の安全が脅かされている。

また、本路線の未整備区間(特にJR日豊本線との交差部)は、歩車道の区別がなく、幅員狭小となっているため、当該区間を整備することで、歩行者・自転車等の安全を確保するとともに渋滞を緩和し、交通の円滑化を図るものである。

事業概要(1)

事業名 : 都城広域都市計画道路 たか お かみ なが え とおりせん 鷹尾上長飯通線
(中尾工区)踏切除却・改良事業

路線名 : 鷹尾上長飯通線

事業箇所 : 都城市五十町～南鷹尾町

事業延長 : 302m

幅員 : 21.0～32.0m(2車線)

総事業費 : 約14億円

事業期間 : 平成7年度～平成16年度

事業概要(2)

本事業は、鷹尾上長飯通線の未整備区間のJR日本本線との踏切部を含む一連の区間302m(立体交差部140m、一般部162m)を整備したものである。

踏切部について、立体交差化を行い、鉄道で分断された南北の交通の円滑化を行うことにより、渋滞の緩和や自転車・歩行者の安全の確保を行った。

なお、歩道整備においては、景観に配慮した、平板舗装や照明柱を用い、歩行空間の高質化を図った。

事業位置図



鷹尾上長飯通線の整備効果アピール資料

事業概要

事業名: 都城広域都市計画道路
鷹尾上長飯通線(中尾工区)
踏切除却・改良事業

路線名: 鷹尾上長飯通線(中尾工区)

事業箇所: 都城市五十町
～ 都城市南鷹尾町

事業延長: 302m

幅員: 21～32m(2車線)

総事業費: 約14億円

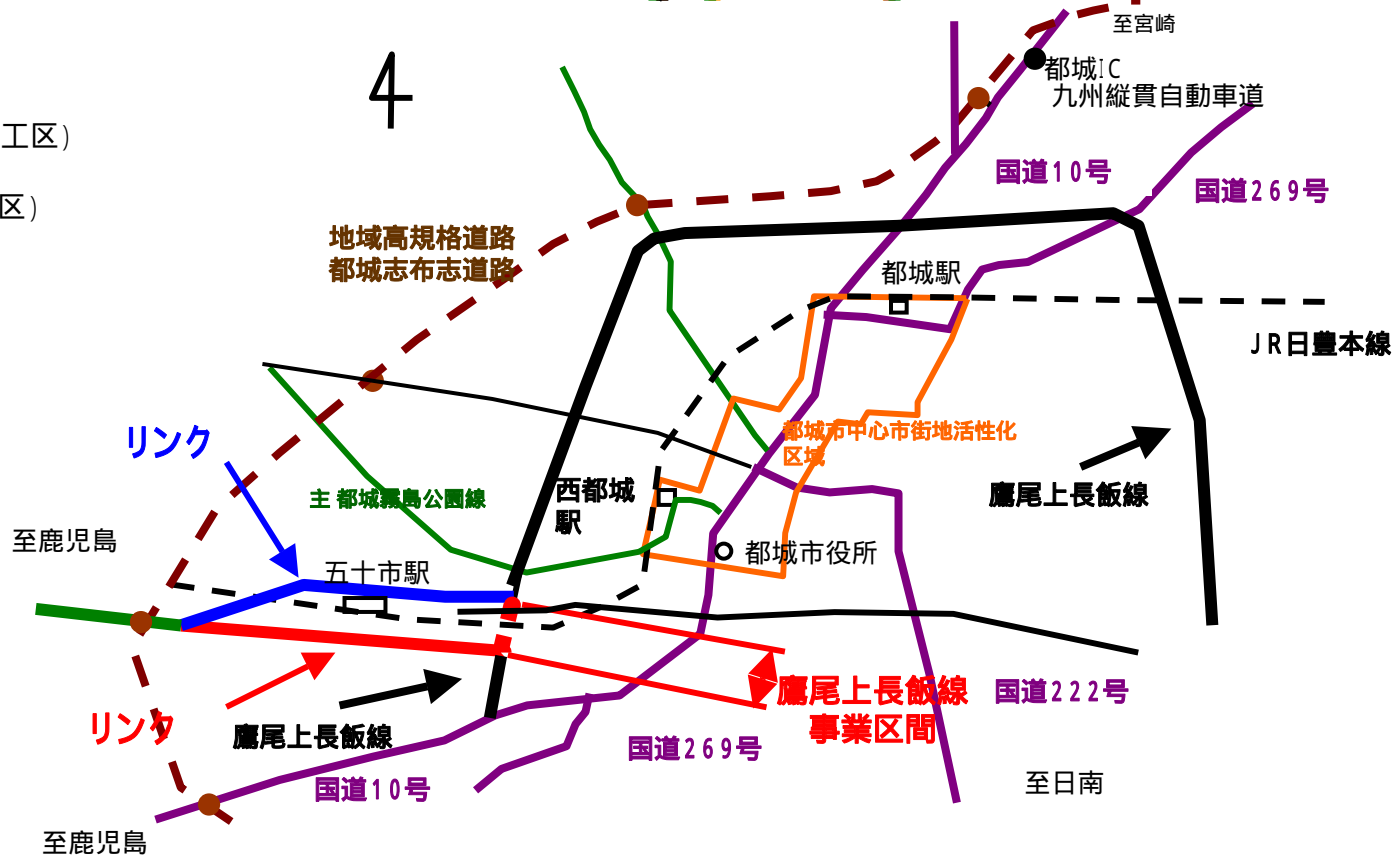
事業期間: H7～H16年度



事業前 H14.4



事業後 H16.12



交通量調査結果

供用前 平成12年3月
供用後 平成17年3月

リンク1)	
交通量	2,633 → 9,489(台/日)
移動時間	5.0 → 3.0(分)
踏切遮断交通量	1,843 → 0(台時/日)
リンク2)	
交通量	10,873 → 7,795(台/日)
移動時間	4.7 → 4.1(分)
踏切遮断交通量	8,699 → 6,236(台時/日)

「整備効果」

立体交差化により鉄道により分断されていた交通の円滑化及び交流の促進

- ・ピーク時の移動時間が約2分短縮

- ・踏切前後の渋滞の緩和

- ・南北の通過交通量が約6,900(台/日)増加

- ・踏切の遮断交通量が約4,300(台時/日)減少

中高校生の通学時の安全性の確保

事業前写真



事業後写真



事業前写真



事業前写真



事業前写真



事業後写真

